

◆奨励賞◆

女性が働きやすい社会を作るために

金 目 中 学 校 三 年

渡 邊 智 依

先日、私の母が父に激怒していました。父が残業をしていると思いきや、趣味のボルダリングに行っていたことを知ったからです。母が言うには、

「私も仕事をしているのに、娘の保育園の送迎時間を毎日気にして働かなければいけないし、家に帰ってから、娘たちのご飯を作らなければならぬし、毎日そういう風に考えているのにはあなたは自分の好きな事をしているなんておかしい。」

確かに、私の母は働きながら私達姉妹三人の子育てに奮闘しています。特に年の離れた妹はまだ一歳で、まだまだ手がかかる中で毎日忙しくしています。そう考えると、父がした事は母からすると許せないことかもしれません。

政府は、「女性活躍推進法」を掲げました。働く女性が継続して就労できる社会を作り、その活躍を推進する目的による制度です。女性は、結婚、妊娠や出産で仕事を離れることを余儀なくされます。仕事復帰してからも、しばらくは、子供のことで急に仕事を休まなくてはならないこともたくさんあります。

日本は昔から、子育てや結婚による家事は、女性がやる、という社会の

風潮があります。社会全体がもっと女性が働くことについて理解し、応援することで、この風潮を変えていけるのではないかと私は思います。

私の家の場合は、父がもっと母の大変さを理解し、子育てに参加する事で、もっと母が仕事をしやすくなると思います。私はそのために、父と母の間を取りもち協力できたらいなと考えています。ちなみに、父は毎週末、家中の掃除をしてくれているので、家事には貢献していると言っておきます。

私も将来、仕事に就き結婚をして子供を産んでも、仕事は続けていきたいと思っています。その時は、今より少しでも女性が働きやすい社会であることを願っています。